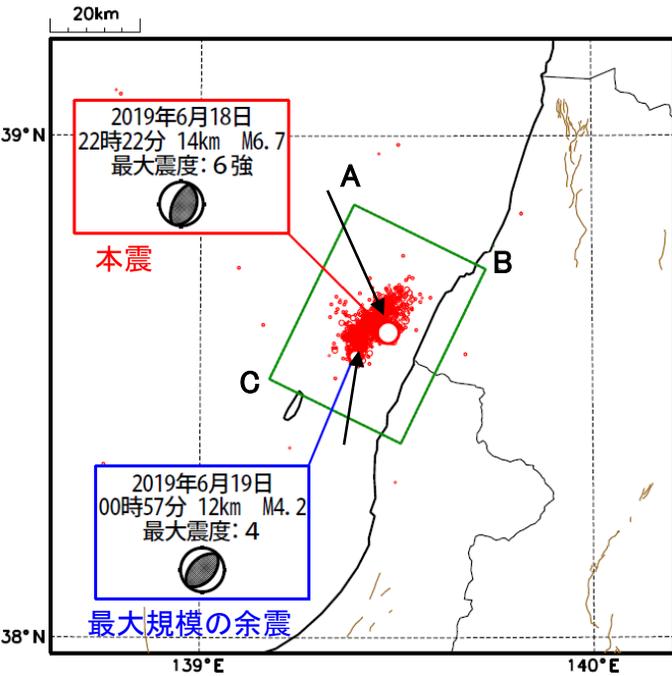


2019年6月18日山形県沖 地震活動の状況 (7月2日15時00分現在)

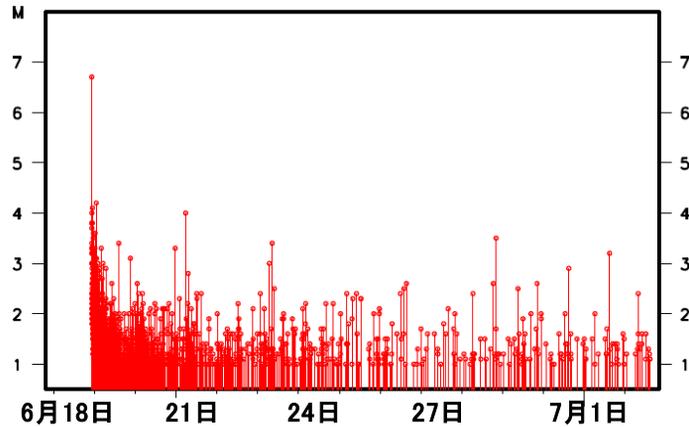
震央分布図

(2019年6月18日00時00分～7月2日15時00分、
M \geq 1.0、深さ0～30km)



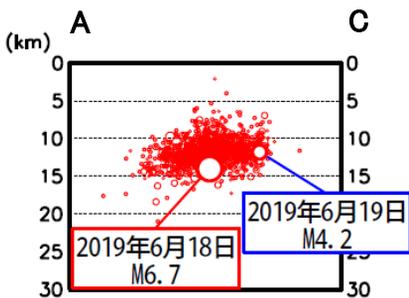
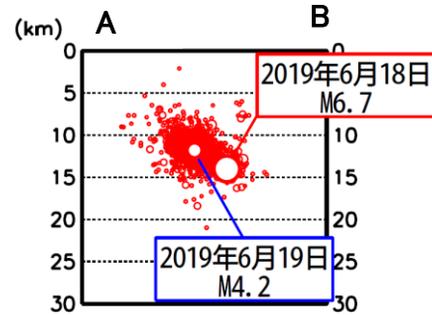
震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図の四角形領域内の地震活動経過図

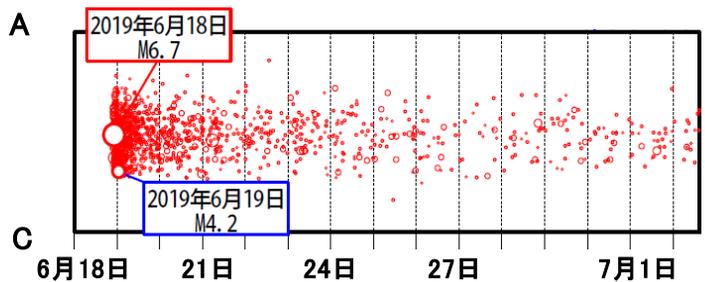
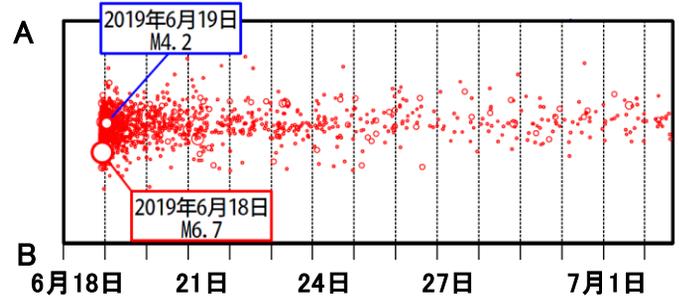


横軸は時刻、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

震央分布図の四角形領域内の断面図(A-BおよびA-C投影)



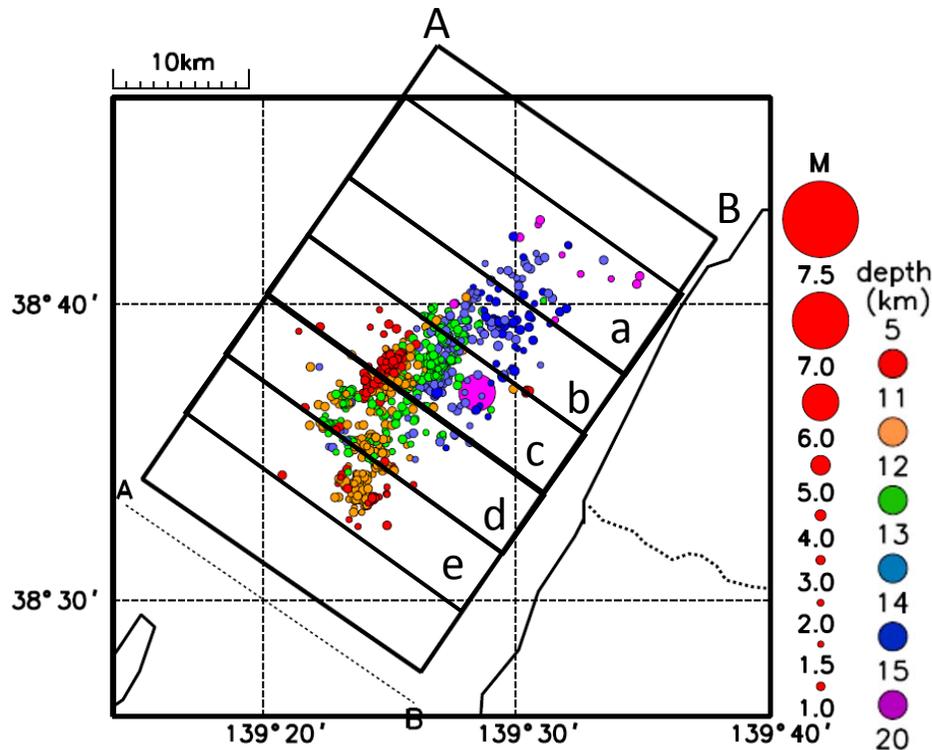
震央分布図の四角形領域内の時空間分布図(A-BおよびA-C投影)



横軸は時刻、縦軸のA・(BまたはC)は震央分布図の四角形領域の両端のA・(BまたはC)と対応する。

波形相関DD法結果

2019年6月18日22時～2019年6月26日24時の一元化震源(M全て)について、観測点限定及び観測点補正値を適用して再計算後、波形相関DD法により処理した。



解析に使用した観測点

